

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー・仲間作りのアクティビティ	ワークシート
3	5月6日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
4	5月13日	講義・演習	オーディションシートの作成	ワークシート
5	5月20日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	職業紹介・アクティビティ	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	メールマナーを学ぶ・アクティビティ	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月11日	講義・演習	オーディション対策	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	1月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月13日	講義・演習	SNSについて学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	1月20日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	4月30日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
3	5月7日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
4	5月14日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
5	5月21日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
6	5月28日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
7	6月4日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
8	6月18日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
9	6月25日	講義・演習	ビジネス講座	ワークシート
10	7月2日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
11	7月9日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
12	7月16日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	キャリア教育を通して、プレゼンテーション能力・チームワークでの作業を学び、人間力と共に3年制として学んだ技能も生かしつつ、エンターテインメント業界の視野を広げて業界の即戦力となるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月29日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	プレゼンテーション	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	冬休みの過ごし方・卒業への準備について	ワークシート
11	1月7日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
12	1月14日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
13	1月21日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
14	1月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	SPL(1) SPL(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	4月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	6月1日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月8日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月15日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月29日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月24日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月21日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	SPL(1) Instrumental Study(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	4月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	6月1日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月8日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月15日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月29日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月24日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月21日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	SPL(2) SPL(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月28日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月25日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	12月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	1月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	SPL(2) Instrumental Study(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月28日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月25日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	12月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	1月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2) ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知る。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を得るのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月26日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月10日	講義・演習	デューク・エリントンビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月17日	講義・演習	グレン・ミラービッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月31日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月7日	講義・演習	「クール」の誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月14日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月21日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月28日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月5日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ピッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月12日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月19日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月23日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月30日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月20日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2) 音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知ること。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月11日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月18日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月25日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月15日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月22日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月29日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	12月6日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月13日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月20日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	1月17日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーブ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月24日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月31日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	2月14日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月21日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	4月28日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月12日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月19日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
5	6月2日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	6月9日	講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	6月16日	講義・演習	中間テスト	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
8	6月23日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習する(＃系メジャースケール)
9	6月30日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする(♭系メジャースケール)
10	7月7日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
11	7月14日	講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を復習する
12	7月21日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月25日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	9月8日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月22日	講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センター-COM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	MusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	マイナースケール	マイナースケールの仕組みを理解し、調号を用いてナチュラルマイナースケールが書けるよう復習する
2	10月13日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの特徴を理解し、スケールが書けるよう復習する
3	10月20日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4	10月27日	講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようになる
5	11月17日	講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
6	11月24日	講義・演習	スコアリーディング	1w~5wまでの復習をし、理解度を高める
7	12月1日	講義・演習	中間テスト	復習、テスト対策を行い中間テストに備える
8	12月8日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習する
9	12月15日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようになる
10	12月22日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習する
11	1月12日	講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習する
12	1月19日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	1月26日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	2月16日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	2月23日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(屋間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようになる。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	4月30日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	5月7日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	5月14日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	5月21日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#トなし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	5月28日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#トあり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	6月4日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	6月18日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#トなし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	6月25日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1～5度8度、#トあり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	7月2日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	7月9日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	7月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/minorのコード判定、音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	8月27日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	9月10日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月24日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(屋間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようになる。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	ET I で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major/Minorのコード聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月15日	講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor/Cminorのメロディー書き取り、コードの聴き分け(C,G,F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月22日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	10月29日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月12日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月19日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月26日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	12月3日	講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月10日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月17日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	1月7日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月14日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	1月28日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	2月18日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Expression A(3) Gt Melodic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	プロミュージシャン科(屋間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに、 アプローチのバリエーションとトレーニングを行い、オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践	vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習
2	4月27日	講義・演習	B Bossa (1) マイナーii-V	i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習
3	5月11日	講義・演習	B Bossa (2) キー・チェンジの練習	ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
4	5月18日	講義・演習	TeeUp(1) コンビングとベースライン	II-V-I(key=D)進行でソロ練習
5	6月1日	講義・演習	TeeUp(2) ウォーキングベースとの コンビネーション	II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習
6	6月8日	講義・演習	greater love (1) ペントニック・アプローチ	ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習
7	6月15日	講義・演習	greater love (2) デミニッシュ・アプローチ	ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習
8	6月22日	講義・演習	Stella(1) m7b5のアプローチ	Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習
9	6月29日	講義・演習	Stella(2) オルタードにフォーカスする	bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習
10	7月6日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
11	7月13日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック2	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
12	7月20日	講義・演習	Dolphin ST (1) M3, m3切り替え	Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習
13	8月24日	講義・演習	Dolphin ST (2) 7thコードの転回形のアプローチ	II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	スケールの復習
15	9月21日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	スケールの復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分～)で練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。				

科目名	Expression A(3) Bass Line Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーブのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	4月30日	講義・演習	分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	5月7日	講義・演習	アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	5月14日	講義・演習	16ビートのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	5月21日	講義・演習	セカンダリードミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	5月28日	講義・演習	シャッフルのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	6月4日	講義・演習	分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る	チャプター内のエクササイズの復習。
8	6月18日	講義・演習	様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	6月25日	講義・演習	拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	7月2日	講義・演習	サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	7月9日	講義・演習	レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	7月16日	講義・演習	マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	8月27日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 ベースラインコンセプト教科書				

科目名	SPL(3) SPL(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	4月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	6月1日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月8日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月15日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月29日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月24日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月21日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	SPL(3) Instrumental Study(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	4月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	6月1日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月8日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月15日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月29日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月24日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月21日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	SPL(4) SPL(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する					
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月28日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月25日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	12月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	1月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	SPL(4) Insttrumtal Study(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月28日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月25日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	12月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	1月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training(3)	必修 選択	2	担当教員 鈴木未夏 田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	総時間 (単位)	
教員の略歴				
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。			
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。			
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点			

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	既習リズムを使ったリズム打ち・書き取り、6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り(CMajor)、2声メロディー、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	10月13日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C.Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor、2声ハーモニー)、3度音程のハーモニー練習、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	10月20日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C.Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor)、3度音程の2声ハーモニー書き取り、音程ドリル コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	10月27日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C.Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) P4.P5.トライトーンのハーモニー練習 コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	11月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C.Gを使って) メロディー書き取り(16分音符導入、Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	11月24日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C.Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	12月1日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	12月8日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C.G.Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り、IV(II m)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	12月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) 6度音程のハーモニー練習 コードIV(II m)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	12月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	1月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー) オクターブとユニゾンのハーモニー練習 コードIV(II m)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	1月19日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	1月26日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	2月16日	講義・演習	復習	総復習を行い中間テストに備える
15	2月23日	講義・演習	中間テスト	総復習を行い中間テストに備える
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(4)	必修 選択	2	担当教員 鈴木未夏 田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	総時間 (単位)	
教員の略歴				
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。			
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。			
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点			

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、2声メロディーは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)ーVーI の聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)ーVーI の聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	10月29日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月19日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り メロディー 書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月26日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	12月3日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月10日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	1月7日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って)、メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月14日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って)、メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	1月28日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
15	2月18日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月7日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月14日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月21日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	5月28日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月18日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月25日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月2日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月9日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	7月16日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月27日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月10日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月24日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	10月15日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習／配布授業資料復習
3	10月22日	講義・演習	著作権の必須知識／使える著作権	教科書予習／配布授業資料復習
4	10月29日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習／配布授業資料復習
5	11月12日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習／配布授業資料復習
6	11月19日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(1)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	11月26日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(2)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	12月3日	講義・演習	国際的な音楽活動／世界の音楽ビジネス事情	教科書予習／配布授業資料復習
9	12月10日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	12月17日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
11	1月7日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習／配布授業資料復習
12	1月14日	講義・演習	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
13	1月21日	講義・演習	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル	教科書予習／配布授業資料復習
14	1月28日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習／配布授業資料復習
15	2月18日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2) ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知る。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を得るのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月26日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月10日	講義・演習	デューク・エリントンビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月17日	講義・演習	グレン・ミラービッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月31日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月7日	講義・演習	「クール」の誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月14日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月21日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月28日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月5日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ピッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月12日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月19日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月23日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月30日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月20日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2) 音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知ること。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月11日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月18日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月25日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月15日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月22日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月29日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	12月6日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月13日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月20日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	1月17日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーブ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月24日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月31日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	2月14日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月21日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				